

News! 国土交通省推進の「i-Construction」がスタート

2016年4月から、国土交通省が推進する「i-Construction (アイ・コンストラクション)」がスタートしました。同省はこれまで3次元データを駆使した情報化施工やCIM (コンストラクション・インフォメーション・モデリング)、ドローン (無人機) など、さまざまなICT (情報通信技術) 関連技術の導入・検討を進めてきましたが、「i-Construction」はこれらを統合して建設現場の生産性をさらに向上させようという新たな取り組みです。

当社ではすでに情報化施工の専門部署を設置しているほか、情報化施工対応の建設機械の導入やシステム運用のサポートを実施しています。今後も一層の活発化が予想されるICT活用の建設生産システムに対応してまいります。



当社が積極導入している情報化施工対応の建設機械

東日本大震災への対応 ⑩ —— 復興・創生期間という新しい5年間に移行

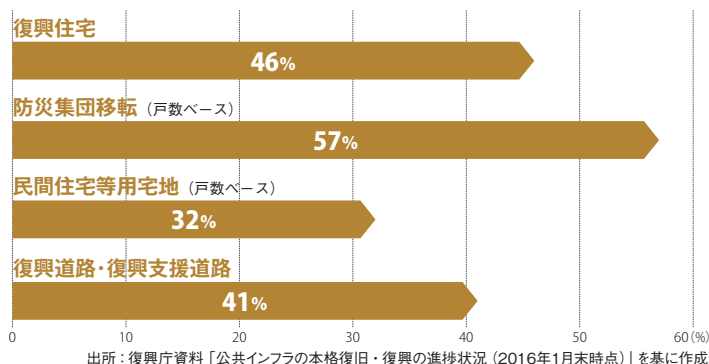
社会・生活基盤の再建に向けて、引き続き復興支援に努めてまいります。

東日本大震災の発生から5年が経過しました。被災地に政府予算を重点配分する「集中復興期間」が2016年3月で終わり、4月から「復興・創生期間」という5年間の新たなフェーズに入ります。

今後も「防災集団移転促進事業 (高台移転)」などの基幹的事業のほか、三陸沿岸道路や相馬福島道路、市町村による防潮堤の建設などが復興に不可欠な事業として引き続き行われます。

当社グループは社会インフラとしてのレンタルの使命を果たすべく、引き続き復興支援に尽力してまいります。

■ 住宅再建と道路交通網の完了率



宮城県気仙沼市の防災集団移転工事

宮城県牡鹿郡女川町のURまちづくり工事



宮城県気仙沼市の三陸道 (左) と復興道路の整備工事

第52期第1四半期決算の概況 [平成27(2015)年11月1日～平成28(2016)年1月31日まで]

●連結経営成績(累計)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	1株当たり四半期(当期)純利益 (円)
第52期第1四半期	35,079 (△3.4)	4,069 (△35.5)	4,063 (△36.2)	2,533 (△37.6)	71.70
第51期第1四半期	36,327 (9.6)	6,306 (11.6)	6,373 (12.1)	4,062 (21.4)	112.72

●連結業績予想

第52期第2四半期	68,000 (△0.5)	9,280 (△12.9)	9,230 (△13.4)	5,750 (△12.0)	162.71
第52期通期	133,900 (0.5)	16,340 (0.4)	16,270 (0.7)	10,230 (7.0)	289.48

(注)括弧内の数字は、前年同期増減率(%)を示しております。

[経営環境]

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、積極的な経済政策や金融政策の継続により、企業収益の回復や雇用環境が改善し、個人消費にも持ち直しの動きがみられるなど、景気は穏やかな回復基調で推移しました。しかしながら、世界経済の停滞、為替の変動や原油価格の急落などの諸要因から、景気の先行きについては依然として慎重な見方で推移しました。

[第1四半期の連結業績]

当社グループが関連する建設業界におきましては、民間建設投資は改善傾向にある企業収益を背景に堅調に推移した一方で、公共投資が減少に転じるなど、全体としての建設需要は前年度を下回る水準で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは中期経営計画(平成26年度～平成28年度)の諸施策に基づく重点項目の推進に努めました。主たるマーケットである国内においては、首都圏等に拠点を拡充するとともに、営業に供しているレンタル用資産については、各地の需要に応じた適正配置を行いました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は350億79百万円(前年同期比3.4%減)となりました。利益面につきましては、営業利益は40億69百万円(同35.5%減)、経常利益は40億63百万円(同36.2%減)、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億33百万円(同37.6%減)となりました。

[セグメント別の業績]

建設関連

当社の主力事業である建設関連におきましては、各地域で人材不足などの要因から予算執行に鈍化がみられるなど当初想定していたおりの環境でありました。ただ、公共投資の減少影響を大きく受けた北海道などの地域においては建設機械のレンタル需要が想定以上に減少するなど、停滞感の強い厳しい事業環境となりました。

中古建機販売につきましては、前年同期は売却抑制分として前々期からずれ込んだものを含め自社機売却が多く、これによる収益増がありました。当期は例年並みの中古機売却に止まったことにより、前年同期比60.2%減となりました。

以上の結果、建設関連事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は325億40百万円(前年同期比4.7%減)、営業利益は39億円(同36.6%減)となりました。

その他

その他の事業につきましては、鉄鋼関連、情報通信関連ともに堅調に推移したことから、売上高は25億39百万円(前年同期比17.0%増)、営業利益は67百万円(同1.6%増)となりました。

[事業所数の増減]

当第1四半期連結会計期間における拠点の新設は1拠点でありました。なお、拠点の閉鎖はありませんでした。

新設：熊谷営業所(埼玉県熊谷市)

■ 連結財務諸表

連結損益計算書(累計)

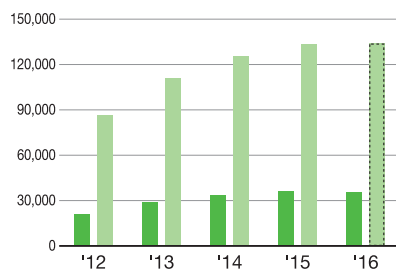
(単位:百万円)	第51期第1四半期 (2014.11.1~2015.1.31)	第52期第1四半期 (2015.11.1~2016.1.31)
① 売上高	36,327	35,079
売上原価	24,062	24,782
売上総利益	12,265	10,297
販売費及び一般管理費	5,959	6,228
② 営業利益	6,306	4,069
営業外収益	232	164
営業外費用	165	170
③ 経常利益	6,373	4,063
特別利益	128	5
特別損失	10	15
税金等調整前四半期純利益	6,490	4,053
法人税、住民税及び事業税	2,014	1,072
法人税等調整額	271	325
四半期純利益	4,204	2,655
非支配株主に帰属する四半期純利益	142	121
④ 親会社株主に帰属する四半期純利益	4,062	2,533

連結包括利益計算書(累計)

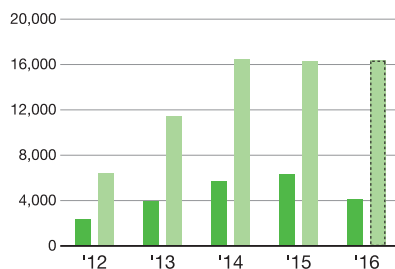
(単位:百万円)	第51期第1四半期 (2014.11.1~2015.1.31)	第52期第1四半期 (2015.11.1~2016.1.31)
四半期純利益	4,204	2,655
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	306	△ 401
繰延ヘッジ損益	△ 1	0
為替換算調整勘定	29	32
その他の包括利益合計	334	△ 368
四半期包括利益	4,539	2,286
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,392	2,165
非支配株主に係る四半期包括利益	147	121

■ 第1四半期 ■ 通期 ■ 通期予想 単位:百万円

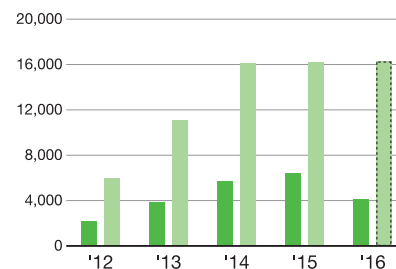
① 売上高



② 営業利益



③ 経常利益



連結貸借対照表

(単位:百万円)	第51期第1四半期 (2015.1.31)	第52期第1四半期 (2016.1.31)
(資産の部)		
流動資産	82,244	84,265
固定資産	123,510	125,615
有形固定資産	114,881	117,841
無形固定資産	257	338
投資その他の資産	8,370	7,435
⑤ 資産合計	205,755	209,881
(負債の部)		
流動負債	68,287	70,136
固定負債	68,138	66,167
負債合計	136,425	136,304
(純資産の部)		
株主資本	64,714	69,424
資本金	13,652	13,652
資本剰余金	14,916	14,916
利益剰余金	36,201	42,983
自己株式	△ 56	△ 2,128
その他の包括利益累計額	2,322	1,622
その他有価証券評価差額金	2,284	1,546
繰延ヘッジ損益	△ 1	—
為替換算調整勘定	38	75
非支配株主持分	2,292	2,530
⑥ 純資産合計	69,329	73,577
負債純資産合計	205,755	209,881

とってもいいモノ 読者プレゼント

巻末のアンケートハガキをご返送いただいた方の中から、抽選で30名様に当社のオリジナルノベルティグッズをお贈りします。

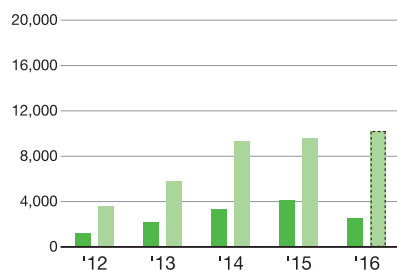
今号のプレゼントは、持ち歩きに便利な「折りたたみ式靴べら」です。クロムメッキ仕上げのヘラ部分に当社グループマークとkanamotoのロゴを打刻。グリップには使い込むほどに独特の風合いを増す本革(牛皮革)を使用しています。鞆やポケットに入れておけば、外出先で重宝する携帯用シューホーン。この機会をお見逃しなく、ふるってご応募ください。



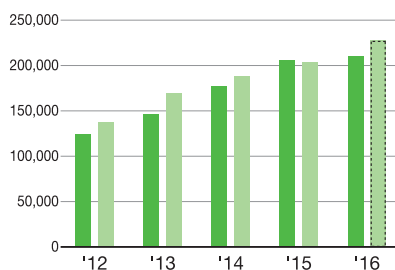
サイズ:長さ107mm(使用時)×幅37mm
※特製紙筒ケース入り

ご応募の締め切りは2016年5月20日(金)当日消印有効です。
なお、当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

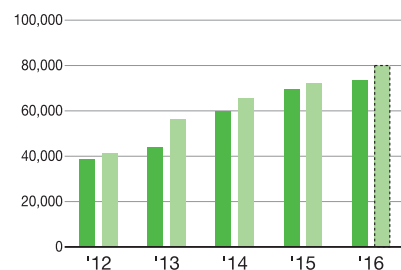
④ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



⑤ 総資産



⑥ 純資産



■ 第1四半期 ■ 通期 ■ 通期予想 単位:百万円